



これからも地域に根ざしたサービスを

昭和59年に立てられた琉球銀行東風平支店（上田美保子支店長）が2月6日で創立25周年を迎えるにあたってこれまで支えてもらった人たちに感謝を込めて行員15名の集合写真がプリントされたメッセージカードと粗品を窓口に来たお客さんに提供しました。その日は、やえせ桜まつりの前日となっており桜に合わせてピンク色の風船や紙花で模様替えしました。上田支店長は、「25周年を迎え、これからも地域に根ざしたサービスを提供していきたい」と話しました。

感謝を込めて社協会員の集い

社協会員の集いが1月30日貝志頭改善センターにおいて開催されました。社会福祉事業に賛同した社協会員や賛助会員、その他社協会員者などを招き感謝の意を表するとともに相互の交流をもつことを目的として開催しています。式典では、仲座清次郎社会福祉協議会会長より主催者挨拶が行われ今後の社協事業への更なる理解を求めました。



5冠達成に胸を膨らませる

南部商業高校3年生の生徒5人が全国商業高等学校協会主催の5種類の検定試験でそれぞれ一級を取得しました。一般的に同協会が主催する試験は、8種類。その中の5冠を達成した生徒が5人でたことに学校関係者も喜んでます。28日には、全国商業高等学校校長協会などから5種目の試験に合格したことで表彰状が手渡されました。

今回5冠を達成した生徒は、O A 経理科の上原望さん、情報ビジネス科の知念篤史さん、新垣舞さん、上原美香さん、仲村怜奈さんの5人。進学、就職とそれぞれ進路がきまっており、「取得した資格をいろいろな面で活かしたい」と期待に胸を膨らませました。



左から知念さん、仲村さん、上原美香さん、上原望さん、新垣さん



待望の信号機が完成しました

富盛地区に信号機を新設するにあたり信号機点灯式が2月4日行われました。今回新設された場所は公民館近くにある県道15号線沿いの交差点。その日は、糸満警察署関係者や富盛区民、役場関係者、みなみ保育所園児など約50人が出席しました。式典で中村信吉町長は、「新しい信号機が設置され、交通事故の防止に大変効果があります。今後とも、行政の立場から交通安全対策を推進します」とあいさつ。また、知念満富盛区長からは「永年要望してきた信号機がやっと完成し、これで安心して道路を渡れます」と話しました。



大魚を願って初おこし

今年一年の大魚を祈願して初おこしが旧暦1月2日にあたる1月27日、港川漁業共同組合（樋岡邦彦組合長）で行われ、昨年三月に完成したセリ市場に組合関係者や漁師、議会議員の方々が出席しました。樋岡組合長からは、「燃料高騰が続く、漁業経営も厳しい状況ですが、組合員の団結で経済不況を乗り切りたい。今年も航海安全と大魚を願って頑張っていきましょう」と激励しました。

「いろいろ塗装の日」の奉仕活動について

日本塗装工業会沖縄県支部（大見謝恒裕支部長）が12月22日、町内にあるあずま保育所とみなみ保育所の外壁の塗装を行いました。本会では広く一般の方に「塗装の良さ」を知ってもらおうと親しみやすい事業並びにイベントを定期的に開催しています。

事務局代表の當間君代さんは、「できる限りの人数でできる限りのことはやりたいと思っているのでこれからもいろいろと奉仕させていただきたい」と話しました。



沖縄県社会教育功労表彰受賞

平成21年1月30日（金）宜野湾市民会館において第50回沖縄県社会教育研究大会が行われました。

この大会において、多年にわたり子ども会及び青少年の健全育成に携わり次代を担う青少年の指導と非行防止の活動に尽力されました、字波名城の仲里一夫さんが県教育長より社会教育功労表彰を受賞しました。



110番の正しい利用法について

110番通報が年々増加するなかで、110番通報になじまない「困り事相談」や「いたずら電話」等が緊急の110番通報に支障をきたしている状況であることを受け、糸満警察署が1月10日東風平中学校体育館で町内保育園児を対象に110番の正しい利用法について学んでもらうイベントを行いました。当日は保育園児や保護者も合わせ約300人が参加。「110番O×クイズ」や「園児100人対警察官10人による110人綱引き対決」などを行いゲーム感覚で110番の正しい利用法を学びました。

